

戯曲に興味のある方、声に出して読んでみたい方、聞いてみたい方、寺山修司に興味のある方、演劇をやっていない方も、やっている方も、どなたでもご参加いただけます！「戯曲」は声に出して読むことや身体を動かすことが前提で書かれているものです。声に出されることではじめて立ち上がる世界や物語に触れ、「戯曲」と触れ合い向かい合っていく企画です。

参加者募集!

●戯曲を声に出して読んでみよう(15名程度) ●ラジオドラマをつくってみよう(20名程度)
参加をご希望の方は、下記項目をご記入いただき info.jda.fukuoka@gmail.com へお送りください。
①お名前 ②年齢 ③性別 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥意気込み、期待すること
※各講座、稽古見学もできます!(要・事前連絡)

参加希望締切
12月1日



パピオビールーム

福岡県福岡市博多区千代1丁目15-30
■地下鉄千代田駅(パピオ24地下1階)より徒歩3分
■JR鹿児島本線吉塚駅より徒歩13分
■西鉄バス千代一丁目乗り場より徒歩1分



アクロス福岡

福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号
■西鉄「福岡天神駅」から徒歩10分
■地下鉄「空港線天神駅」16番出口から徒歩5分
■地下鉄「七隈線天神南駅」5番出口から徒歩7分
■西鉄バス
■アクロス福岡・水鏡天満宮前から徒歩0分
■天神4丁目から徒歩3分
■中央郵便局前から徒歩5分



あじびホール

福岡市博多区下川端町3-1
リハレンセンタービル8階
■地下鉄「中洲川端駅」6番出口より徒歩すぐ
■西鉄バス「川端町博多座前」バス停、徒歩すぐ

☆リーディングって何?

外国で、劇場で次に行う戯曲を決める際に使われる一般的な方法で、俳優が戯曲を持ったまま読み合わせを行うやり方です。この時、動いたり、衣装・小道具・舞台美術・照明・音響などは使われませんが、今日で行われている「リーディング公演」では、動きがあったり、音響や照明を使うものがあったりと、いろんなスタイルで行われることが増えています。

☆戯曲って何?

演劇の台本。上演されること(舞台などで俳優などによって、実際に声に出したり動いたり)を目的として書かれたもの。

☆ト書きって何?

戯曲で、セリフの間に書かれている、俳優の動きや場面の状況、演出の指定などが書かれた文章の事。通常の上演では、ほぼ声に出して読まれることが無い「ト書き」を、今回の上演と発表では声に出して読んでいきます。ぜひ「ト書き」に書かれた物事も想像しながらお楽しみください!

2018年12月開催
日本の戯曲研修セミナー in 福岡 vol.1

研修参加者募集中!

12/6 thu → 15 sat

【会場】パピオビールーム / アクロス福岡 / あじびホール

寺山修司を読む!

Shuji Terayama

「社会をふりむかせる」
市街劇『ノック』の上演など社会を挑発し続けた
寺山修司の遺した戯曲を「社会をふりむかせる」
というテーマで読み解いていきます。



寺山修司

(1935~1983)

青森県生まれ。演劇実験室「天井桟敷」主宰。「言葉の錬金術師」「アンクラ演劇四天王」と呼ばれ、『毛皮のマリー』街頭劇『ノック』等上演。映画監督作品として『田園に死す』『書を捨てよ、町へ出よう』等がある。劇作家である他、短歌、俳句、詩、小説、随筆、作詞、ラジオドラマ、映画など、様々な顔を持っていた。敗血症により47歳で死去。

撮影：有田泰而
提供：テラヤマ・ワールド

◎戯曲を声に出して読んでみよう(参加者募集!発表あり)

『血は立ったまま眠っている』演出：中嶋さと(14+FOURTEEN PLUS、nakashima group)

◎ラジオドラマをつくってみよう(参加者募集!)『大人狩り』演出：福井信介

◎リーディング作品上演『毛皮のマリー』演出：石田聖也(演劇ユニットそめごころ)

◎映像上映〜寺山修司とその作品を知ろう〜

声に出して読まれる事を前提に書かれた「戯曲」が、実際に声に出され立ち上がっていく、そんな時間を一緒に体験しませんか?

リーディング上演・発表&シンポジウム

12月15日(土) 14:00~18:30

入場料 500円